



物を作って

体を使って

健康になる



1月15日、東野小学校で創作ふれあい大会が開催され、全校児童、保護者、そして地域に住む高齢者のみなさんが参加しました。

約10年前から行っているこの行事。学校が「児童に昔ながらの工作を教えてほしい」と地域の老人クラブ「東寿会」に依頼したことがきっかけで始まりました。

今年は東寿会の会員約30人が、竹馬、たこ、お手玉、竹笛などの遊び道具作りを児童に教えました。

東寿会会長の井上文夫さんは、「昔は竹馬の作り方にしても親から教えてもらっ

とったけど、今は家庭で教えることもないだろうからね。こうやって物を作って体を使えば健康になる。」と話します。

自然のものを利用して、工夫しながら作った道具で、元気に遊ぶ。その光景が当たり前だった昔。昔の良さを東寿会のみなさんが伝えます。

児童からは、「難しかったけれど、慣れてくると面白かった。」「できた時、早く使いたいと思った。」など様々な感想が出ました。

「3つのお手玉を1回しか回すことができなかったけれど、その1回が嬉しくて、つい『できた』と大声で言っ



てしまいました。」という5年生の大内咲さんは、昔の遊びの面白さを実感したようです。

そして、東寿会のみなさんからは、「小学生に戻ったよう。」「子どもの頃を思い出して面白かった。」という、昔を懐かしむ声が聞かれました。

閉会式では、児童がお礼に、歌や縄跳びを披露。児童が「ふるさと」を歌う場面では、東寿会のみなさんも一緒に口ずさんでいました。

昔を今に伝える。簡単なことではありませんが、地域のつながりが、次世代にゆつくりと伝えていってほしいようです。



市政発展のためのご意見などをお寄せください



郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課「市長への私の提案」係
FAX 22-0998

※電子メールでも受け付けています。市ホームページ「市長の部屋」から送信できます。
いただいたご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただく場合があります。

タイム

先日の新聞で入試の記事を見ました。いよいよ入試シーズン。近年では毎年のようにインフルエンザに関するニュースがにぎわっている時期ですが受験生がいる家族は予防注射を行い、手洗いやうがいに気をつける毎日だと思います。神社への合格祈願も既に行っているのではないかと・・・。あとは受験生のみなさんがこれまでの努力を信じて一生懸命がんばるのみ。がんばれ受験生！(ま)

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	29,335人
男	13,839人
女	15,496人
	12,929世帯
1年前	29,713人
5年前	31,190人
	-1月1日現在-